

2026年度 事業計画書(案)

社会福祉法人 西中国キリスト教社会事業団

特別養護老人ホーム

ショートステイ

清 鈴 園

2026年度 事業計画にあたり

今年度テーマ

「清らかな鈴を鳴らし、キラリと光る介護を目指す ～みんな幸せに～」

清鈴園運動を次世代に繋ぐために、8・6委員会ピースベル活動の充実を図り、語り部活動を軌道に乗せます。清鈴園の働きを広く知ってもらうために SNS・Instagram など活用し広報活動を積極的に行います。清鈴園の情報発信を通じて西中国教区教会の皆様のご理解とご協力を深め皆様との繋がりを大切に活動してまいります。

生産性向上の取り組みを充実させます。計画的に人事採用を行い、人材育成に努め人事効果の向上に努めてまいります。介護ロボットの導入を進めます。特に今年度はこれまで取り組んできたノーリフトに力を入れロボットの導入も視野に入れ職員の負担軽減と業務の効率化を図ってまいります。業務の見直しを引き続き行い、無駄を省き効率化を進めることで公休取得を増やしてまいります。

嘱託医と協力医療機関と連携を進めるとともに、次世代へ引き継ぐために ICT 活用等を進めてまいります。ご利用者の超高齢化・重度化に合わせ看取りの対応の質向上に努め、ご家族と共に協力して取り組みます。

業務継続計画（BCP）の研修と訓練の実施を通じて、計画の見直しを随時行い BCP の充実を図ってまいります。

物価・人件費の高騰に伴い支出の増加が経営を圧迫すると予測します。各種契約・設備・物品購入を精査し支出を抑え安定した施設運営に努めてまいります。

重 点 課 題

I、2026年度 介護報酬改定を踏まえ適切かつ安定した事業運営（中期計画）

- ・制度改正に合わせ適切な業務の取り組みに努める（2026年度～）
- ・新たな加算を取得できる体制を整備しサービス質の向上に努める（2026年～）
- ・デイルームを地域交流の場として活用する（2025年～）
- ・業務継続計画（BCP）を職員に周知徹底を図り、感染症・自然災害を想定した訓練・研修を繰り返し実施しBCP見直しを行う（2024年～）

II、自立支援・重度化防止・QOL向上（短期計画～長期計画）

- ・コロナ禍で生活の質が制限されていた状況から脱却し活性化する（2026年～）
- ・事故防止の研修を繰り返し実施し、防止の強化に努める（2024年～）
- ・嘱託医と医療機関との連携を次世代に向け見直し連携強化を図り、超高齢化と重度化の対応に努め、看取りの質対応を向上する（2026年～）
- ・ご利用者の介護をご家族と協力・連携を強める（2026年～）
- ・オムツコンサルタント導入後の成果を持続し介護に活かす（2026年～）

III、地域包括ケアシステム・地域共生社会の構築に向けた一翼を担う（長期計画）

- ・社会福祉法人としての使命を堅持し継続する（2024年～）
- ・地域関係機関、民生委員と連携を強め、地域ニーズの発見・支援活動の向上に努める（2026年～）

IV、人材育成・働き甲斐の充実（短期・中期計画）

- ・各種外部研修参加とeラーニングを活用して職員のスキルアップと資格取得に

積極的に取り組む。喀痰吸引資格者を増やす(2026年～)

- ・職員間の連携を強化する。働き方を工夫・見直しする(2026年～)
- ・ナースコール入れ替えICT化を進め、生産性向上する(2026年～)
- ・会議、委員会、研修、訓練の実施方法を見直し、充実した内容と体制構築の取り組みを継続する(2026年～)
- ・職場の安全衛生環境を改善し安心安全に業務が出来る環境を整備(2026年～)

V、運営方針に基づく被爆体験の継承の働きを工夫し継続(長期計画)

- ・「8・6伝承活動ピースベル」を活発化し、研修や視察に取り組み伝承活動の心構えを養成するとともに語り部活動を軌道に乗せる。(2026年～)
- ・広報活動を通じて伝承活動を広く発信する(2026年～)

2026年度

働き方改革を推進

2020年10月にスタートし7年目を迎える

「心と体も ゆとりから生まれる 思いやりの心で 周りも自分も 笑顔になろう！」

目標達成を前提として、業務改善と生産性向上について、職員一人一人が意識し、みんなで考え、みんなで取り組む。

重点目標

- 1、有給取得率を60%以上とし、仕事と私生活の充実を図る
- 2、業務の効率化をはかり、余裕を持って仕事ができるようにする
- 3、職員間のチームワークを大切に、声を掛け合える関係を向上する

具体的な行動目標

○有給消化促進

- ・個人ごとに「有給残日数」と「目標消化日数」を明確にし、毎月のシフト作成の際に計画的に有給消化日を特定する。

○業務の効率を図り、残業0(ゼロ)を目指す

- ・ICT 活用と情報共有を図り、業務を効率化する。
- ・職員同士が助け合い取り組むことで、心身の負担を軽減し業務を効率化する。
- ・職場環境・業務手順を見直し、業務の効率化を図り、残業0(ゼロ)を目指す。

○職場環境の向上

- ・新入職員の教育内容を統一する。個人の主観の入った指導は禁ずる。
- ・新入職員の教育は、実績ある先輩が着いて継続的に指導する。
- ・新入職員に対して、全職員は思いやりを持ち見守り応援する姿勢を大切にする。

2026年度

行 動 目 標

《チームワークを高める》

- 「社会人」「組織人」のマナーを向上する。
- 部署間の役割分担と責任を明確にし、組織機能を高め部署間との連携を向上する。
- 職員の個性を認め、助け合う関係を向上する。
- 職員同士が気軽に発言ができ、報連相を円滑化する。
- 「ゆっくり・ゆとり」介護、「丁寧で安全・安心」の介護を目指す。
- 感染症・自然災害の訓練を充実し、緊急時に協力し対応できる力を向上する。

《職場の雰囲気》

「明るく、楽しく、元気良く、皆仲良く、スマイル(笑顔)で！」

「入所者と職員の笑顔と笑いの絶えない職場」